

令和7年度 豊山小 学校評価結果 令和8年1月実施

- 問 1 児童 学校に行くことが楽しい。
 保護者 子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。
 教職員 子どもたちは、学校に来ることを楽しみにしている。

人数

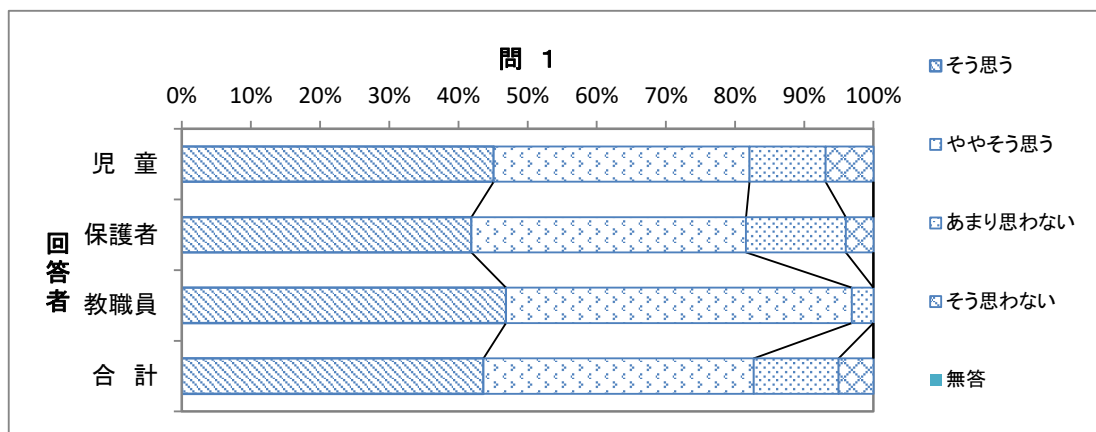
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	111	91	27	17	0	246
保護者	116	110	40	11	0	277
教職員	15	16	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	242	217	68	28	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	45.1	37.0	11.0	6.9	0.0	100
保護者	41.9	39.7	14.4	4.0	0.0	100
教職員	46.9	50.0	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	43.6	39.1	12.3	5.0	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 児童一人一人の置かれている環境や特性を理解し、明るく元気に生活できる教育環境づくりをしている。

【回答の分析】

- ・ 「そう思う・ややそう思う」と回答している児童・保護者と教職員の比率に開きがある。
- ・ 18%前後の児童・保護者が「あまり思わない・そう思わない」と回答している。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 「できた、分かった」という喜びが感じられるよう、指導方法を工夫する。
- ・ コロナ禍を経て、不登校傾向の児童が増えつつあるので、児童一人一人に心の居場所があるような、温かい雰囲気での学級経営を心がける。

- 問 2 児童 学習のきまりを守っている。
 保護者 学校は、学習の規律が整っている。
 教職員 学校は、学習の規律が整っている。

人数

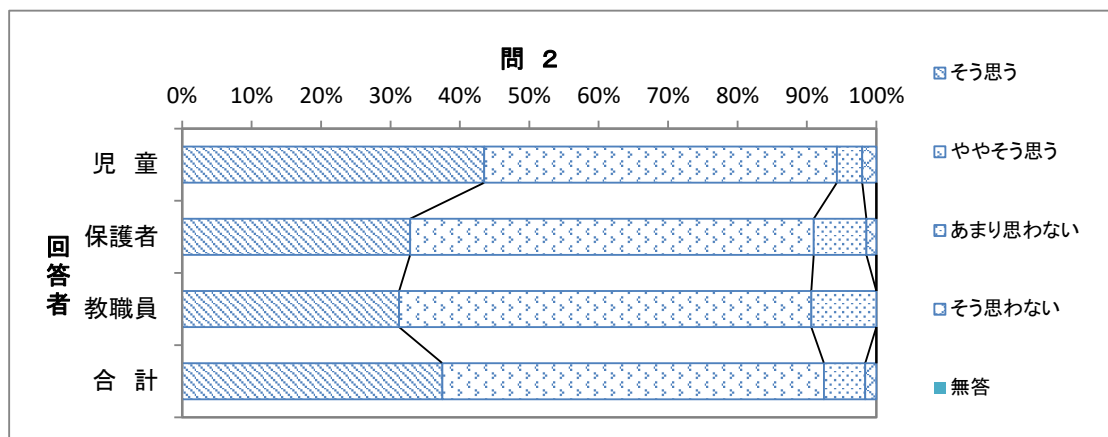
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	107	125	9	5	0	246
保護者	91	161	21	4	0	277
教職員	10	19	3	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	208	305	33	9	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	43.5	50.8	3.7	2.0	0.0	100
保護者	32.9	58.1	7.6	1.4	0.0	100
教職員	31.3	59.4	9.4	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	37.5	55.0	5.9	1.6	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 4月当初に示された「学習のきまり」に基づいて指導している。
- ・ 全職員共通理解の下で指導している。

【回答の分析】

- ・ 「そう思う・ややそう思う」と回答している比率が三者とも90%を超えている。
- ・ 「そう思う」と回答している教職員の比率が、昨年度と比べ上昇した。
 (昨年度23.3%→今年度31.3%)

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 学級によってばらつきが出ないように、学校全体で統一して指導をしていく。
- ・ 教科担任の授業でも、きちんと学習規律に基づいて授業が受けられるよう、更なる指導の徹底を図る。

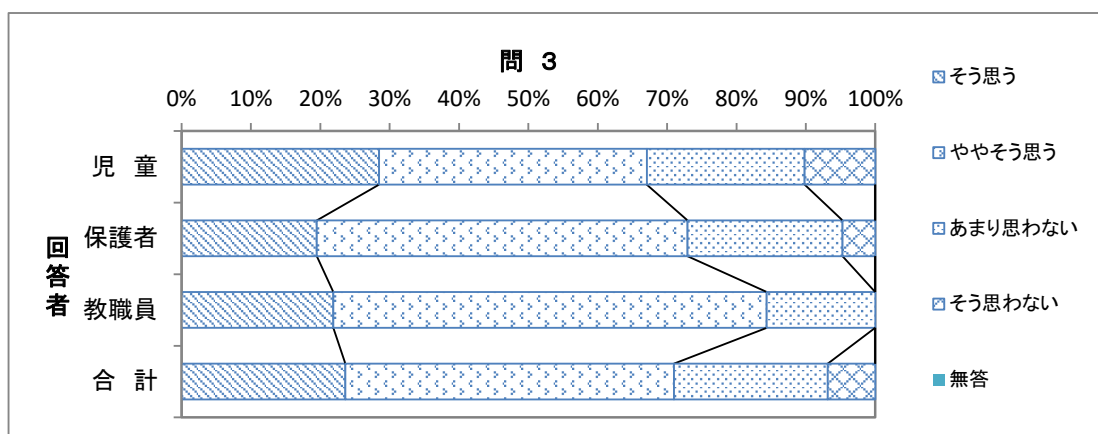
- 問 3 児童 家できちんと勉強をしている。
 保護者 子どもに、学習する習慣が身に付いてきている。
 教職員 子どもたちに、学習する習慣が身に付いてきている。

人数

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	70	95	56	25	0	246
保護者	54	148	62	13	0	277
教職員	7	20	5	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	131	263	123	38	0	555

百分率

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	28.5	38.6	22.8	10.2	0.0	100
保護者	19.5	53.4	22.4	4.7	0.0	100
教職員	21.9	62.5	15.6	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	23.6	47.4	22.2	6.8	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 児童の発達段階に応じた量を宿題として出し、提出状況及び内容の点検をきちんと行っている。
- ・ 毎月初めにコンクールデーを設定し、漢字・計算コンクールを全学年で実施している。

【回答の分析】

- ・ 三者の回答にばらつきがある。
- ・ 「そう思う・ややそう思う」と回答している児童の比率は年々下がっている。
 (一昨年度74.7%→昨年度68.5%→今年度67.1%)

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 今後も漢字・計算コンクールを継続して行い、基礎・基本の定着を図るとともに、学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」になるよう、授業改善に取り組んでいく。

- 問 4 児童 生活のきまりを守っている。
 保護者 学校は、集団生活のきまりに基づいて指導している。
 教職員 集団生活のきまりに基づいて指導している。

人数

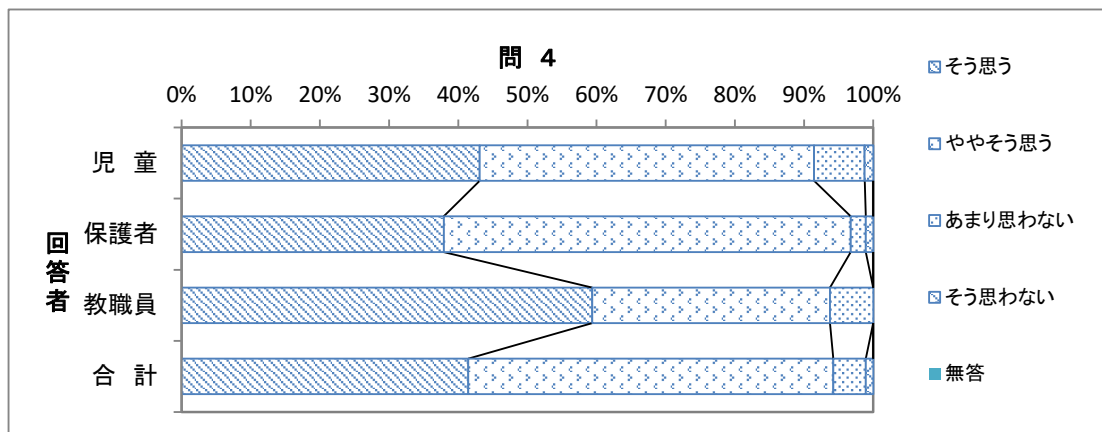
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	106	119	18	3	0	246
保護者	105	163	6	3	0	277
教職員	19	11	2	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	230	293	26	6	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	43.1	48.4	7.3	1.2	0.0	100
保護者	37.9	58.8	2.2	1.1	0.0	100
教職員	59.4	34.4	6.3	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	41.4	52.8	4.7	1.1	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 4月当初に示された「豊山小学校の生活」に基づいて指導している。
- ・ 保護者に文書を配付し、学校生活のきまりについて理解していただくとともに、児童の持ち物についてなど、協力していただいている。

【回答の分析】

- ・ 児童・保護者に比べ、教職員の評価が高い。
- ・ 三者とも90%以上が「そう思う・ややそう思う」と回答している。

【委員の意見及び学校の見解】

- ・ 今後もチャイム着席、名札の着用や持ち物についてなど、生活のきまりをきちんと守らせることで、継続して落ち着いた学校生活が送れるようにしていく。
- ・ 学習規律同様、学級によってばらつきが出ないように、今後も学校全体で統一して指導をしていく。

- 問 5 児童 あいさつや返事をきちんとしている。
 保護者 豊山小の子どもたちは、あいさつ・返事がよくできる。
 教職員 あいさつ・返事がよくできるよう指導している。

人数

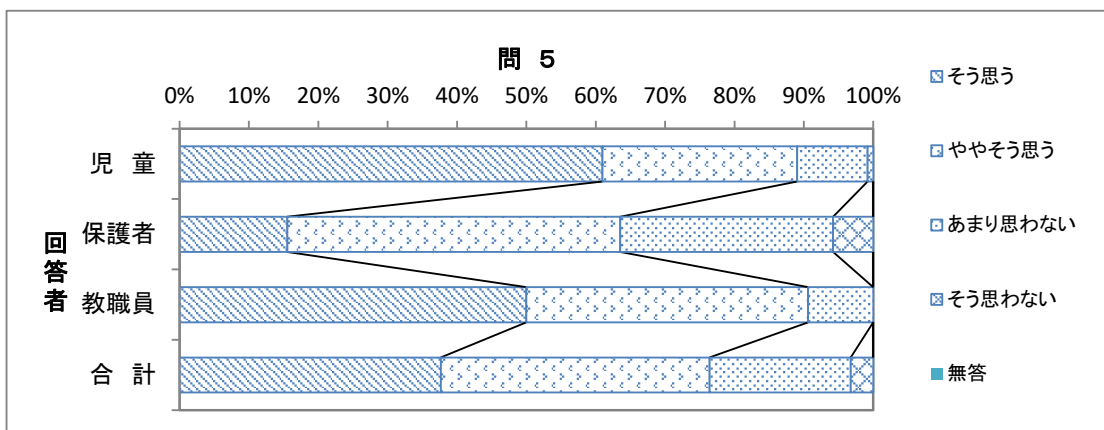
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	150	69	25	2	0	246
保護者	43	133	85	16	0	277
教職員	16	13	3	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	209	215	113	18	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	61.0	28.0	10.2	0.8	0.0	100
保護者	15.5	48.0	30.7	5.8	0.0	100
教職員	50.0	40.6	9.4	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	37.7	38.7	20.4	3.2	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 日常的に挨拶の大切さを指導するようにしている。
- ・ 互いに元気のよい挨拶をして、気持ちのよい学校生活を築こうとする態度を育てるために、生活委員会が毎朝昇降口で、挨拶を行っている。

【回答の分析】

- ・ 三者の回答にばらつきがある。
- ・ 児童・教職員と比べ、保護者の評価が低い。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 校内でも、教師の側から児童に積極的に挨拶をするように心がけていく。
- ・ 家庭の協力も得て、いろいろな場面で継続的に挨拶や返事を指導をしていく。
- ・ 校外においても、知っている人にはきちんと挨拶できるように指導をしていく。

- 問 6 児童 交通ルールを守り、安全に気を付けて道路を歩いたり、自転車に乗ったりしている。
 保護者 豊山小の子どもたちは、交通ルールを守り、安全に気を付けて道路を歩いたり、自転車に乗ったりしている。
 教職員 交通ルールを守り、安全に気を付けて道路を歩いたり、自転車に乗ったりするよう指導している。

人数

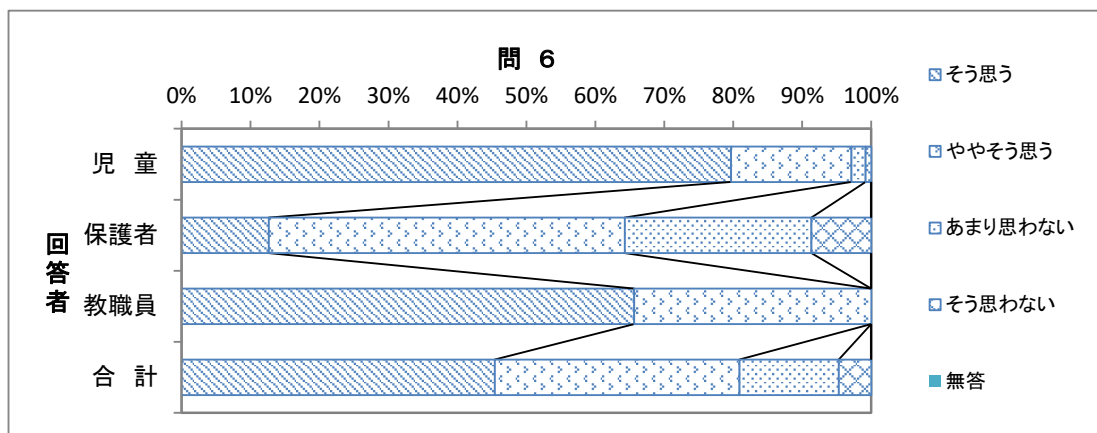
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	196	43	5	2	0	246
保護者	35	143	75	24	0	277
教職員	21	11	0	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	252	197	80	26	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	79.7	17.5	2.0	0.8	0.0	100
保護者	12.6	51.6	27.1	8.7	0.0	100
教職員	65.6	34.4	0.0	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	45.4	35.5	14.4	4.7	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 毎年、交通安全教室を開催し、3年生に自転車の安全な乗り方を指導している。今年度も、警察の方にも来ていただき、交通安全について指導していただいた。
- ・ 今年度は1・2年生に対しても、自転車の乗り方について、警察の方から指導をしていただいた。

【回答の分析】

- ・ 児童の評価が高い一方、保護者の評価が年々低下している。
 (保護者の肯定的回答：一昨年度71.3%→昨年度68.5%→今年度64.3%)

【委員の意見及び学校の見解】

- ・ 校外生活のことではあるが、学校でも繰り返し指導していく。
- ・ 道路への飛び出し注意と自転車に乗るときのヘルメット着用については、通学団会議や下校の折にも声かけをすることで、交通事故を防ぎたい。

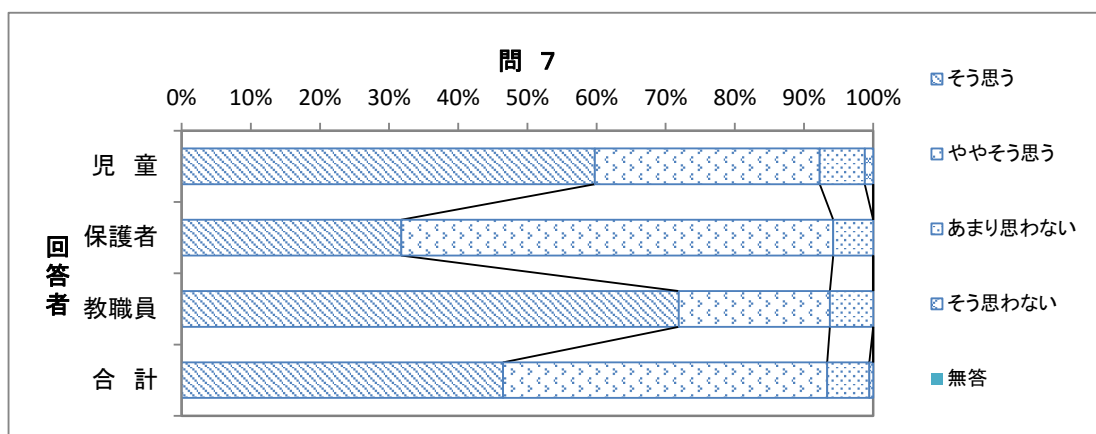
- 問 7 児童 手洗い・うがいをきちんとしている。
 保護者 学校は、子どもたちの健康保持に努めている。
 教職員 学校は、子どもたちの健康保持に努めている。

人数

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	147	80	16	3	0	246
保護者	88	173	16	0	0	277
教職員	23	7	2	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	258	260	34	3	0	555

百分率

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	59.8	32.5	6.5	1.2	0.0	100
保護者	31.8	62.5	5.8	0.0	0.0	100
教職員	71.9	21.9	6.3	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	46.5	46.8	6.1	0.5	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 今年度は、感染症予防対策として、各教室に加湿器を設置した。
- ・ 保健委員会で、換気がきちんとされるよう、窓開け調べをしたり、感染症予防の意識を高めるために「手洗いがんばり週間」を実施したりした。

【回答の分析】

- ・ 三者とも90%以上が「そう思う・ややそう思う」と回答している。

【委員の意見及び学校の見解】

- ・ 保健委員会等の取組の結果、インフルエンザ等による学級閉鎖は、今年度はまだ行っていない。
- ・ さまざまな感染症予防のために、今後も引き続き手洗い・換気について、繰り返し指導をしていく。

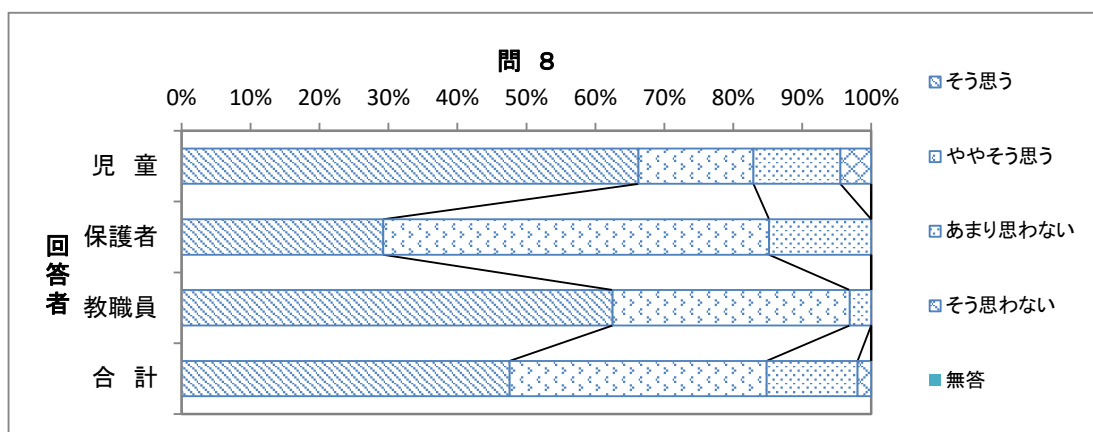
- 問 8 児童 運動することが好きだ。
 保護者 学校は、子どもたちの体力増進に努めている。
 教職員 学校は、子どもたちの体力増進に努めている。

人数

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	163	41	31	11	0	246
保護者	81	155	41	0	0	277
教職員	20	11	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	264	207	73	11	0	555

百分率

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	66.3	16.7	12.6	4.5	0.0	100
保護者	29.2	56.0	14.8	0.0	0.0	100
教職員	62.5	34.4	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	47.6	37.3	13.2	2.0	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 年に2回、高学年と低学年に分けてすこやか集会を実施し、よりよい生活習慣や運動習慣が身に付くよう指導している。
- ・ 体力向上のために、体育委員会が一定時間続けて連続跳びができた子にスタンプを押す「なわとびマスター」という新しい企画を実施した。
- ・ ドッジボール集会やなわとび集会など、外遊びができるような集会を児童会で企画した。

【回答の分析】

- ・ 児童・教職員に比べ、保護者の評価が低い。

【委員の意見及び学校の見解】

- ・ 長なわとびの練習では、どの学級も集会に向けて、皆で練習に取り組んでいた。今後もできるだけ体を動かすことができるような活動を計画・実施していく。

- 問 9 児 童 学校でけがをしたり、調子が悪くなったりしたとき、先生たちはすぐ、対応（手当て）してくれる。
 保護者 学校でけがをしたり、体調が悪くなったりしたときの対応が適切である。
 教職員 学校でけがをしたり、体調が悪くなったりしたときの対応が適切である。

人数

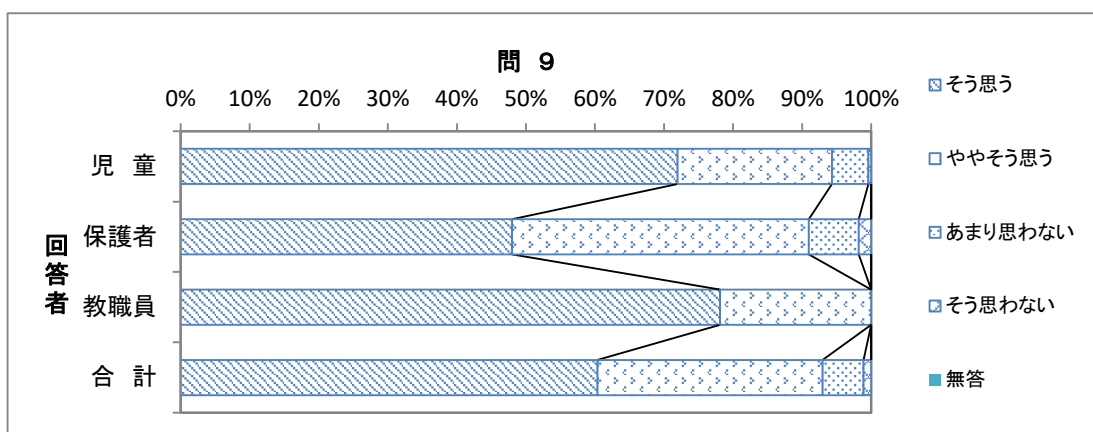
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	177	55	13	1	0	246
保護者	133	119	20	5	0	277
教職員	25	7	0	0	0	32
無 答	0	0	0	0	0	0
合 計	335	181	33	6	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	72.0	22.4	5.3	0.4	0.0	100
保護者	48.0	43.0	7.2	1.8	0.0	100
教職員	78.1	21.9	0.0	0.0	0.0	100
無 答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合 計	60.4	32.6	5.9	1.1	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 感染症・熱中症の予防や食物アレルギー対策など、養護教諭が常に全職員に働きかけ、エピペンやAEDの講習会を実施している。
- ・ 学校でのけがについて、家庭への連絡を怠らないよう心がけ、必要に応じて学校から受診している。

【回答の分析】

- ・ 三者とも90%以上が、「そう思う・ややそう思う」と回答している。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 緊急時にどの職員も対応ができるよう、定期的に研修を行っていく。
- ・ 体育時の準備運動や休み時間の遊び方についてなど、けがの予防に向けて継続的に指導をしていく。

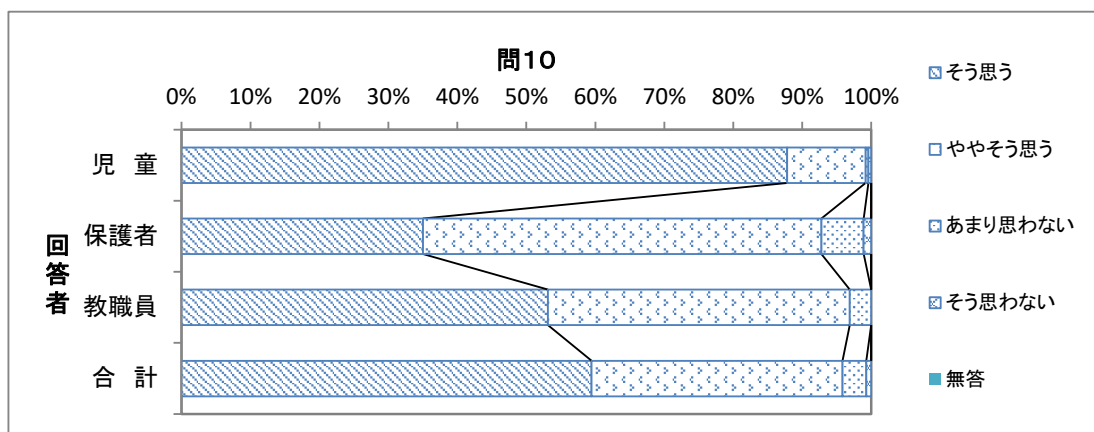
- 問 10 児童 もし学校にいるときに、地しんや火事がおきても、避難のしかたが分かっている。
 保護者 学校は、非常災害時や不審者対策など、緊急時の対応ができています。
 教職員 学校は、非常災害時や不審者対策など、緊急時の対応ができています。

人数

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	216	28	1	1	0	246
保護者	97	160	17	3	0	277
教職員	17	14	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	330	202	19	4	0	555

百分率

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	87.8	11.4	0.4	0.4	0.0	100
保護者	35.0	57.8	6.1	1.1	0.0	100
教職員	53.1	43.8	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	59.5	36.4	3.4	0.7	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 地震・火事、授業中・休み時間など、いろいろな想定で避難訓練を行っている。避難の際には、「お・か・し・も」を繰り返し指導し、「自分の命は自分で守る」ことができるよう指導している。
- ・ 今年度は、4月に引き渡し訓練を行い、引き渡し方法を保護者に周知した。
- ・ 不審者対応として、教室の扉に鍵を取り付け、職員通用口の鍵を常時施錠するようになっている。

【回答の分析】

- ・ 児童の「そう思う・ややそう思う」の比率が高く、今年度は99.2%であった。繰り返し訓練を行うことで、基本的な避難の仕方は身に付いていると思われる。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 今後も非常時に備えて、いろいろな場面を想定した訓練を実施していく。
- ・ 来年度は職員向けに不審者対応訓練を、警察の協力を得て行いたい。

問 11 児童 運動会や校外学習など、学校の行事は楽しい。
 保護者 学校は、気候や学習内容を考慮して行事を行っている。
 教職員 学校は、気候や学習内容を考慮して行事を行っている。

人数

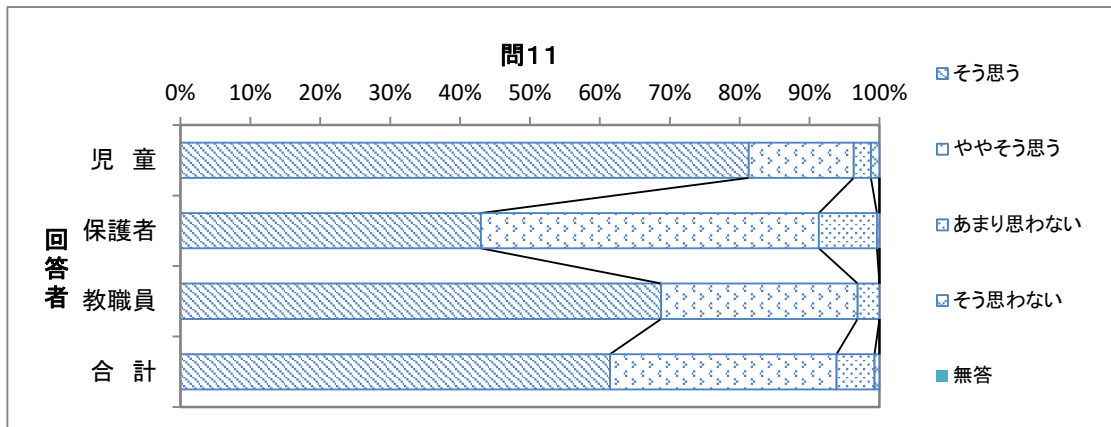
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	200	37	6	3	0	246
保護者	119	134	23	1	0	277
教職員	22	9	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	341	180	30	4	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	81.3	15.0	2.4	1.2	0.0	100
保護者	43.0	48.4	8.3	0.4	0.0	100
教職員	68.8	28.1	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	61.4	32.4	5.4	0.7	0.0	100



【学校の取組】

- ・今年度も、熱中症対策のため、運動会を半日日程で実施した。
- ・修学旅行・野外学習等、その他の行事も、児童の安全に配慮して実施した。

【回答の分析】

- ・児童の評価が高く、96%以上の児童が「学校の行事は楽しい」と回答している。
- ・児童・教職員と比べて保護者の評価が低い。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・次年度も、児童の学力保障と健康・安全面を第一に考えて行事の計画・実施をしていきたい。

- 問 12 児童 先生たちは、たよりやホームページなどで、学校でのようすを、家に伝えてくれている。
 保護者 たよりやホームページなどで、子どもたちの学校での活動状況が、家庭によく伝わっている。
 教職員 たよりやホームページなどで、子どもたちの学校での活動状況を積極的に家庭に伝えている。

人数

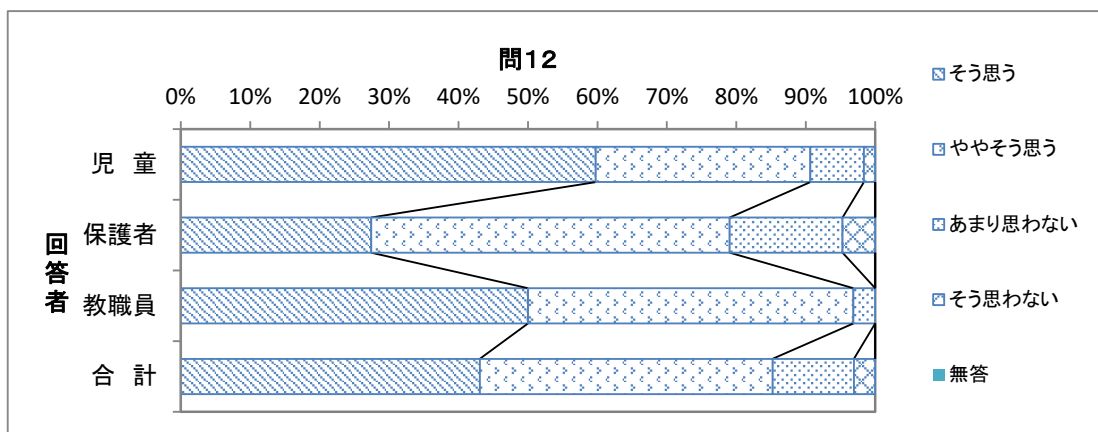
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	147	76	19	4	0	246
保護者	76	143	45	13	0	277
教職員	16	15	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	239	234	65	17	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	59.8	30.9	7.7	1.6	0.0	100
保護者	27.4	51.6	16.2	4.7	0.0	100
教職員	50.0	46.9	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	43.1	42.2	11.7	3.1	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 学校・学年の行事だけでなく、ふだんの学習の様子についても、ホームページを通して伝えるようにしている。
- ・ 今年度より学年通信をHome&Schoolで通知している。

【回答の分析】

- ・ 三者の回答にばらつきがある。保護者の評価が低い。
- ・ 「そう思う・ややそう思う」と回答している教職員の比率が上昇した。(昨年度80%→今年度96%)

【委員の意見及び学校の見解】

- ・ 学校通信・保健だよりを毎月発行して学校生活の予定を知らせたり、児童の健康維持に向け、啓発活動を行ったりしていく。
- ・ 引き続き、ホームページを通して児童の学校生活の様子を発信していく。

- 問 13 児童 困ったことがあったとき、先生たちはきちんと話を聞いてくれる。
 保護者 子どものことについて連絡・相談しやすい。
 教職員 保護者との連絡や意思疎通をきちんと図っている。

人数

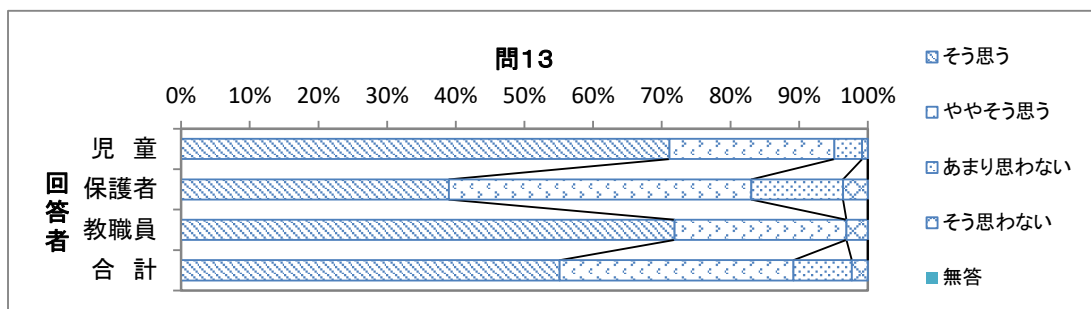
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	175	59	10	2	0	246
保護者	108	122	37	10	0	277
教職員	23	8	0	1	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	306	189	47	13	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	71.1	24.0	4.1	0.8	0.0	100
保護者	39.0	44.0	13.4	3.6	0.0	100
教職員	71.9	25.0	0.0	3.1	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 学期に1回教育相談を実施し、担任以外とも話ができるようにするなど、児童の心の問題に寄り添うようにしている。
- ・ 心が不安定な児童には担任だけでなく、通級指導担当教員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど、多くの職員で対応するようにしている。

【回答の分析】

- ・ 児童の評価が高く、95%以上が「そう思う・ややそう思う」と回答している。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 担任以外の教職員も、日頃から児童や保護者と関わりをもつことで、困ったときには気軽に相談できるようにしたい。

- 問 14 児童 パソコンやタブレット端末などを使った授業は楽しい。
 保護者 学校は、パソコンやタブレット端末など I C T機器を活用して、よりよい指導ができるよう努力している。
 教職員 パソコンやタブレット端末など I C T機器を活用して、よりよい指導ができるよう努力している。

人数

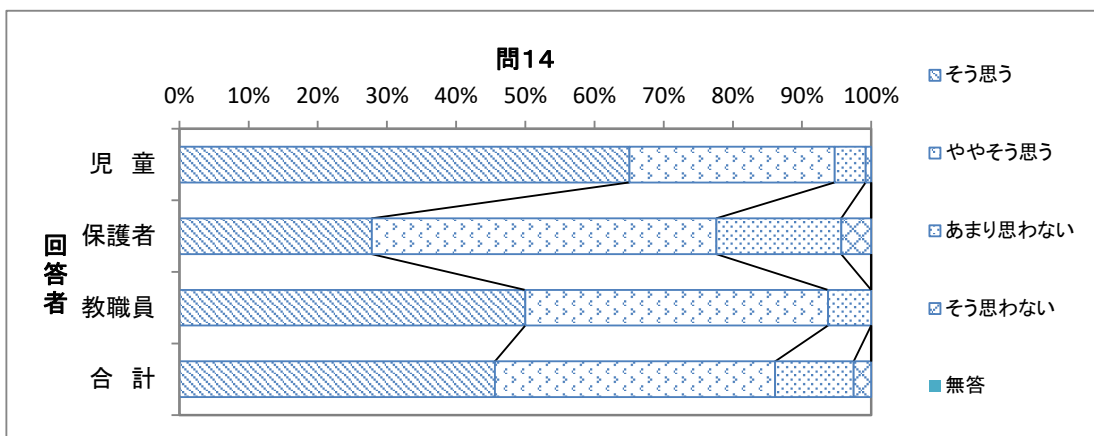
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	160	73	11	2	0	246
保護者	77	138	50	12	0	277
教職員	16	14	2	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	253	225	63	14	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	65.0	29.7	4.5	0.8	0.0	100
保護者	27.8	49.8	18.1	4.3	0.0	100
教職員	50.0	43.8	6.3	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	45.6	40.5	11.4	2.5	0.0	100



【学校の取組】

- ・積極的に I C T機器を活用しており、タブレット端末についても各教科で活用した。

【回答の分析】

- ・児童の94%以上が、「そう思う・ややそう思う」と回答している。
- ・「そう思う・ややそう思う」と回答している教職員の比率が上昇した。(昨年度86.7%→今年度93.8%)

[委員の意見及び学校の見解]

- ・目的に沿った正しい使い方ができるよう、学年に応じた情報モラルの指導を行う。
- ・どの教職員もより効果的に指導できるよう、活用法を検討していく。

- 問 15 児 童 大人になったとき、なりたいものややりたいことがある。
 保護者 学校は、将来に向けての夢や希望をもたせる教育活動ができている。
 教職員 学校は、将来に向けての夢や希望をもたせる教育活動ができている。

人数

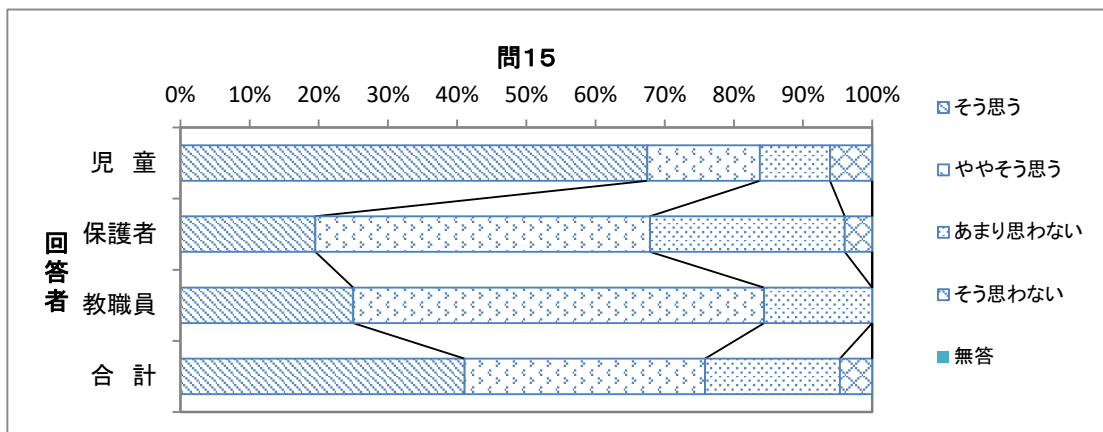
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	166	40	25	15	0	246
保護者	54	134	78	11	0	277
教職員	8	19	5	0	0	32
無 答	0	0	0	0	0	0
合 計	228	193	108	26	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	67.5	16.3	10.2	6.1	0.0	100
保護者	19.5	48.4	28.2	4.0	0.0	100
教職員	25.0	59.4	15.6	0.0	0.0	100
無 答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合 計	41.1	34.8	19.5	4.7	0.0	100



【学校の取組】

- ・今年度の取組をキャリアパスポートに追加するなど、継続してキャリア教育に取り組んでいる。
- ・カルビーやトヨタ自動車、パラアスリートなどの、外部講師による授業を行うことができた。

【回答の分析】

- ・三者の回答にばらつきがある。
- ・児童の83%以上が、将来に向けての夢や希望をもっている。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・今後も、職業観だけにとらわれず、挨拶・返事の仕方や係・当番活動への取組についても指導するなど、全学年を通してキャリア教育を進めていく。

- 問 16 児童 先生たちは、いじめが起きないように自分たちを見てくれていて、もし、いじめがあっても解決してくれる。
 保護者 学校は、いじめの未然防止や解決に向け、努力している。
 教職員 学校は、いじめの未然防止や解決に向け、努力している。

人数

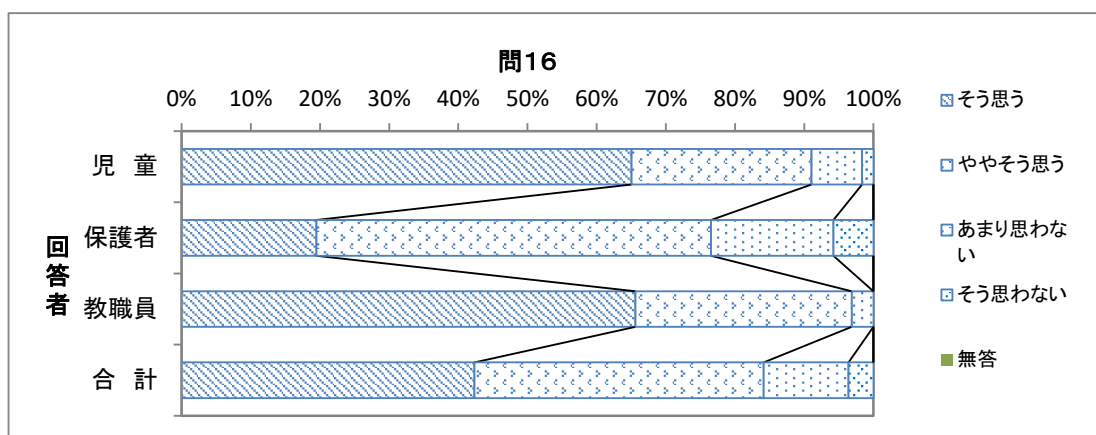
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	160	64	18	4	0	246
保護者	54	158	49	16	0	277
教職員	21	10	1	0	0	32
無答	0	0	0	0	0	0
合計	235	232	68	20	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児童	65.0	26.0	7.3	1.6	0.0	100
保護者	19.5	57.0	17.7	5.8	0.0	100
教職員	65.6	31.3	3.1	0.0	0.0	100
無答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合計	42.3	41.8	12.3	3.6	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 教育相談の期間だけでなく、ふだんから児童の実態把握をするとともに、問題の早期発見・早期解決に努めている。
- ・ 毎月いじめ防止対策委員会を開き、情報共有および協力体制の確認をしている。

【回答の分析】

- ・ 児童・教職員に比べて、保護者の評価が低い。25%以上が「あまり思わない・そう思わない」と回答している。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 今後も、教育相談や日頃の観察を丁寧に行い、いじめの未然防止・早期発見に努めていく。
- ・ 心のケアなど、専門性が高いものはスクールカウンセラーとも協力し、全職員で問題の解決に当たるようにする。

- 問 17 児 童 みんなとなかよく協力して生活できている。
 保護者 子どもは、思いやりや互いに協力する心が育ってきている。
 教職員 子どもたちは、思いやりや互いに協力する心が育ってきている。

人数

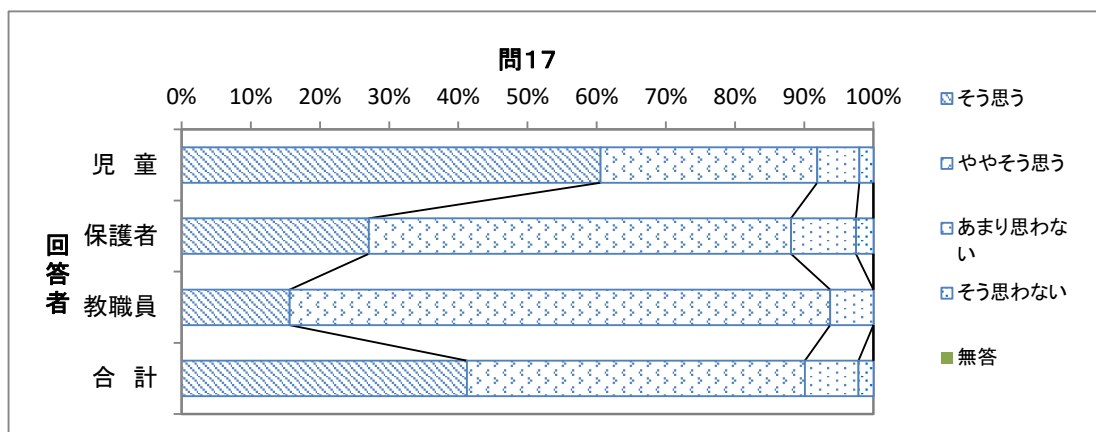
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	149	77	15	5	0	246
保護者	75	169	26	7	0	277
教職員	5	25	2	0	0	32
無 答	0	0	0	0	0	0
合 計	229	271	43	12	0	555

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童	60.6	31.3	6.1	2.0	0.0	100
保護者	27.1	61.0	9.4	2.5	0.0	100
教職員	15.6	78.1	6.3	0.0	0.0	100
無 答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
合 計	41.3	48.8	7.7	2.2	0.0	100



【学校の取組】

- ・ どの学級でも、互いに認め合い、協力し合って、活動することができるような学級づくりを心がけている。

【回答の分析】

- ・ 児童も90%以上が「そう思う・ややそう思う」と回答している。

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 学校生活のいろいろな場面を通して、互いに認め合うことや協力することを指導していく。
- ・ 児童の「あまり思わない・そう思わない」が更に減っていくよう、道徳教育の充実を図る。

問 18 児 童
保護者
教職員 学校は、多忙化解消に向け、業務改善が進んでいる。

人数

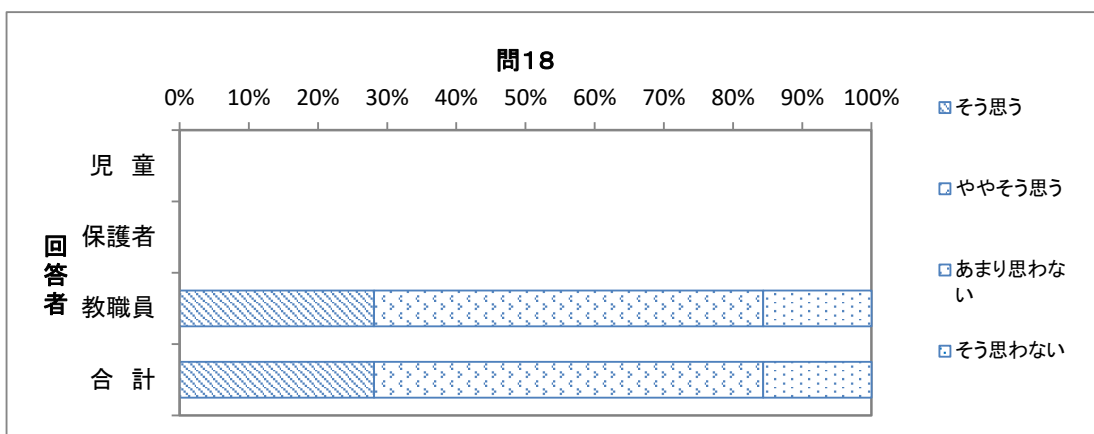
回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童						
保護者						
教職員	9	18	5	0	0	32
無 答	0	0	0	0	0	0
合 計	9	18	5	0	0	32

百分率

回答者

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無答	合計
児 童						
保護者						
教職員	28.1	56.3	15.6	0.0	0.0	100
無 答	0	0	0	0	0	0
合 計	28.1	56.3	15.6	0.0	0.0	100



【学校の取組】

- ・ 用務員に、プリント類の印刷などの業務を依頼している。
- ・ 会議日などを4時間授業とするなど、職員の勤務体制の適正化を図っている。

【回答の分析】

- ・ 昨年度と比べ、「そう思う・ややそう思う」と回答した比率が上昇した。
(昨年度70%→今年度84.4%)

〔委員の意見及び学校の見解〕

- ・ 教職員が、子どもに関する業務により多くの時間を費やすことができるよう、更なる業務改善を進めていく。